

誰か・何をしているとき災害の種類	例) 父・仕事・津波
どこに逃げる	会社の一番上

逃げるのが必要であれば

ハザードマップを確認して、家・働いている会社がある場所に色がついているときは、逃げる場所を決めましょう。

1 ハザードマップ (危険な場所の地図) の確認

ハザードマップ (危険な場所の地図) はそれぞれの市や町が出しています。

国土地理院の「重ねるハザードマップ」でも確認することができます。

国土地理院 重ねるハザードマップ

名前	電話番号



逃げる場所・連絡方法の確認

災害の時に電話は使えません。災害の時の連絡方法は171、Web171があります。家族が安全な場所に逃げたかどうかを確認するために使ってください。電話番号が必要になるので、下に書いておいてください。

災害が起こる前の準備は何をする？

- 1 ハザードマップ (危険な場所の地図) の確認
 - 2 逃げるのが必要であれば 逃げる場所・連絡方法の確認
 - 3 家の中の防災対策
 - 4 非常持出袋 (逃げる時に持っていく物) の準備
 - 5 食べ物・生活用品の準備
- 上に書いてある5つについて紹介します。
-

3 家の中の防災対策

家の中で災害の被害にあった時に怪我をしないために必要なことを紹介します。

家の中から外に逃げる道に大きな家具を置かない。肩丈り高い場所に重いものを置かない。

大きく重い家具・家電が動いたり、倒れたりしないようにしよう。

カウズにフィルムを貼って、カウズが割れないようにしよう。



【やさしい日本語】

かていないぼうさい

家庭内防災

マニュアル

5つ

さいがい お まえ
～災害が起こる前の準備～

静岡県警察本部
しずおかけん けいさつほんぶ

4 非常持出袋 (逃げる時に)

逃げる時に持っていき物を入れる

「非常持出袋」を確認しましょう。

3日分の必要なものを入れます。

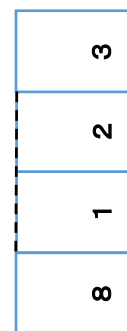
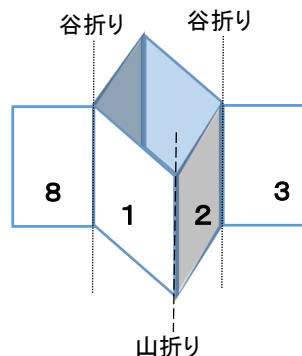
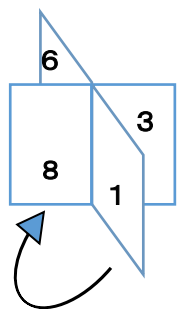
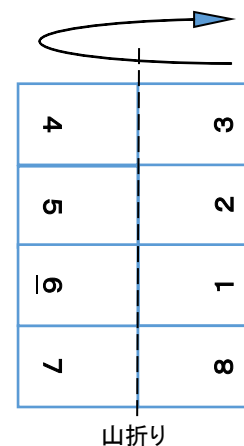
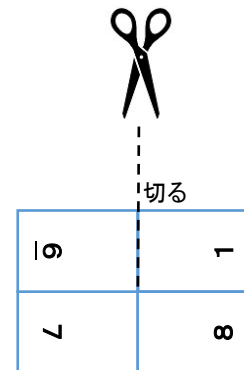
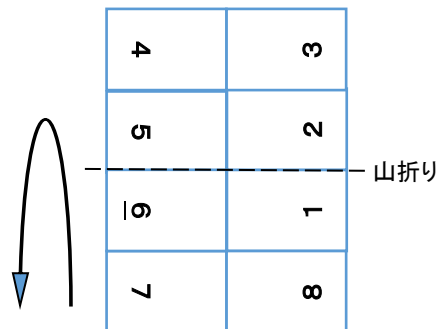
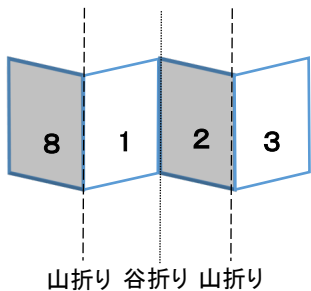
5 食べ物・生活用品の準備

非常持出袋とは別に7日分の食べ物・生活に必要な物の準備をしましょう。

<input type="checkbox"/> 飲む水 (1人21L)	<input type="checkbox"/> カセットポンペ (5本以上)
<input type="checkbox"/> ごはん	<input type="checkbox"/> カセットコンロ
<input type="checkbox"/> おかず	<input type="checkbox"/> ラップフィルム
<input type="checkbox"/> おかし	<input type="checkbox"/> ポリタンク(水用)
<input type="checkbox"/> 非常用トイレ (一人35個以上)	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー
<input type="checkbox"/> 電池	<input type="checkbox"/> 懐中電灯
<input type="checkbox"/> 消毒用ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー
<input type="checkbox"/> ポディシート	<input type="checkbox"/> 歯磨きを使うもの

などなど(ほかにも必要なものを入れてください)





----- 山折り
 谷折り
 ✂----- 切る

しっかり折り目をつけると、きれいにでき上がります。

「防災について、もっと知りたい」

静岡県警察「家庭内防災マニュアル」(完全版)のダウンロードリンクはこちら →

